



みどりの風

No.96 令和8年2月1日発行

発行 医療法人社団康久会 介護老人保健施設グリーンワーフ東戸塚 広報委員会
〒244-0805 横浜市戸塚区川上町151番地 TEL 045(827)1141 FAX 045(827)1294
<http://www.greenwharf.com/>



2026

謹

賀

新

年



新年、明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、温かいご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。本年も、入所者様、ご家族様の思いに添えるよう、職員一同取り組んでまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。





メリー“グリーン”クリスマス！

デイケアでは12/15～19をクリスマス週間
療養棟では12/24に施設全体のクリスマス会を季節の行事として開催しました



療養棟



～デイケアXmas週間～

- 月 ゴスペル
- 火 フルート
- 水 ハンドベル
- 木 琵琶と朗読
- 金 落語

ボランティアのみなさま素敵な時間をありがとうございました。



デイケア





家族と一緒に過ごすひととき

入所されているご利用者さまと外食や外出に行きたいと思っても、「車椅子で行くのは大変」「介護タクシーを呼ばなきゃいけないのかな?」「トイレはどうしたらいいんだろう?」と、心配や不安が多いと思います。グリーンワフではご家族と過ごせる企画を不定期で開催しています。

5月 イオンモールへの外出



服を見たり、本屋さんに行った後はフードコートでちょっと一休み。外で食べる甘いものは特別ですね!



10月 大船フラワーセンター



秋バラとコスモス、ハロウィンが近かったためパンプキンなどが、あちこちに飾ってありました。お昼ご飯は夢庵にて、お好きな物を注文。デザートまでしっかり食べられ笑顔が多い時間でした。

11月 スペシャルランチ会



ご利用者さま9名とご家族さま、総勢22名のご参加がありました。普段の食事では食べられない海鮮丼をご家族さまと一緒に美味しく召し上がられていました。

次回開催は未定ですが、開催が決まりましたら、正面玄関にお知らせを掲示します。お楽しみにしてください！ふるってのご参加をお待ちしております。



明けましておめでとうございます

今年も強い老健を志向し頑張っまいります

近年流行しているAIに午年のご挨拶のポイントを尋ねたところ、次のように教えてくれました。

『午年は、活発でエネルギッシュなイメージがありますよね。そのイメージを挨拶文に取り入れると、相手に元気や希望が伝わります。力強さ・躍進:馬が力強く駆け抜ける様子から、仕事や学業での躍進を願うメッセージによく合います。健康・活動:元気に走り回る姿から、健康や活発な一年を祈る言葉もよいでしょう。縁起の良さ:「うまくいく」「飛躍する」といった言葉と結びつけやすいのも午年の特徴です。』 …AI恐るべしですね。

さて、年末に最近オールドメディアと揶揄されているテレビのクイズ番組を見ていて感心したのが、「当たり前」の反対は？との問いへの答えでした。答えは「有難い(ありがたい)」→「ありがとう」なんです！今回は、「ありがとう」感謝について筆を進めてみたいと思います。いろいろな啓発本、脳科学の世界、マインドフルネス等で、感謝する習慣が大切だと説かれており、感謝日記をつけましょうなどとされております。「ありがとう」という言葉を多く口にするほど幸福度が上がるというのは、脳科学分野でも定説となってきております。昨年、感謝日記に挑戦したものの継続できませんでした。日頃、我が愛する奥様には、あなたは感謝が足りないと言われ続けてきております。新年に際し、自らを大いに反省し、感謝の気持ちをここに述べていきたいと思っております。



年末・年始にご自宅へ帰ることが出来ず、気持ちが収まり切れないご利用者さまへの傾聴対応を介護士さんたちはしてくれていました。中には、1～2時間も対応しているケースもあります。皆様、人の話をそれだけの時間聞いていることができますか？精神的な落ち着きをもって、プロとしての働きに頭が下がります。

施設には、介護を勉強する学生、リハビリを勉強する学生が実習に来ております。今どきの学生は皆スマートで熱心です。自分が学生だった頃、こんなに落ち着いていただろうか？もっと浮き足だっていたなぁと思い返しています。その学生たちに応えようと、介護もリハもとても熱心に教えています。多分あれだけの熱量で教えようとしている姿は、教わる学生たちの心を打つのだと思います。自然とそういう環境が醸成されているこの施設は素晴らしいと思います。施設長はあまりしゃしゃり出ないスタンス(ここ大事)がいいのでしょうか。



看護師さんにも感謝しなくてははいけません。ご承知のとおり、老健はある程度の医療行為を実施するよう厚労省から指導されているところであり、しかし、病院のように検査するスペックがそもそもありません。医療資材も潤沢ではありません。その中で出来る最善の医療行為を実施してきております。ご利用者さまの体調の変化を速やかに把握して必要であれば医療機関へ繋げていております。よくご家族に病院に行かなくて大丈夫かと問われますが、そもそも大丈夫なんてことは前提として言えないと考えております。



ご利用者さまの平均年齢は89歳です。検査をすればするほど疾病は検出されるでしょう。では、次にその疾病は治療できるのかどうかの天秤となります。簡単に検査と書きましたが、検査するのも大変です。ご家族に問われた時に、医療機関へ行った方がいいのか悪いのか、メリットデメリットをよくよく考えた上で、看護師さんたちは説明してくれています。施設長は判断に迷うことがしばしばですが、いつも看護師さんたちに助けられております。とても頭が下がります。

スタッフの皆様を支えられ、本年も何とかやって行こうと考えております。常に、感謝して日々精進してまいります。

